

魔界ってほん魔界!?

第18界

京の魔界を巡礼し、そのナンに迫る「京都魔界巡礼団」。そのオカルト・古代史マニア集団が「京都チャンネル」に乗り込み魔界紀行番組を作ったと聞いて、奇々怪々興味津々と参加志願をした本誌編集部員達。さて魔界の真の姿とは…



中山団長

南副団長

「京都魔界巡礼団」

■レギュラー団員■

小嶋伸一 (ディレクター)・佐々木昇 (アシスタントディレクター)
 丘真奈美 (放送作家・超古代史ジャーナリスト)・加納進 (京都の史跡を訪ねる会会長)

天智天皇と日本最大のクーデター・大化の改新



天智天皇陵へは地下鉄東西線「御陵駅」から徒歩10分ほど

天皇陵へ続く並木道→

御陵駅から三条通を東へ行くと、JR東海道線の線路の手前に天智天皇山科陵がある。レイライン、京都盆地と反対側の通過地だ。天智天皇といえば、教科書でおなじみの「大化の改新」。645年、皇太子・中大兄皇子(後の天智天皇)と藤原鎌足が聖徳太子一族(上宮王家)を滅亡においやり権力を手中におさめていた蘇我氏の長・蘇我入鹿を惨殺した事だ。この事により日本史は新たな局面を迎える。その後しばらくたってから即位した天智帝は血塗られた奈良の都を棄て大津に幻の都・大津京を造営する。

謎の帝・天智天皇

天智天皇は日本ではじめて時計を導入した人物である。大津市の近江神宮には帝が導入した日本初時計「漏刻(るこく)」、水時計がある。境内には時計記念館があり、帝は時計の神サマとなっているのだ。クーデターに時計導入とかなり行動派の帝だったがその最後が謎なのである。沓(くつ)だけを残して姿を消すのだ。神隠しか、誘拐か…。暗殺説も濃厚にある。その音が残された土地にこの天皇陵が作られたのだ。

超古代史ジャーナリスト／丘真奈美

京都魔界巡礼団団員

天皇陵オブジェの正体は？

この文字は一体…



建立は昭和13年6月

人騒がせな日時計!→

天皇陵前にある不思議な石製のオブジェ。妙な文字が刻まれたように見える。神代文字か…。何かの暗号なのか…と推測する団員たち。しかしよ〜く見ると「日時計」だ!「これは相当古い時代のもんや」と誰かがつぶやいたその瞬間。「何や新しいで!」の一言。昭和に入って時計の神サマ・天智帝をたたえて時計組合が建立したものだとおブジェの裏に刻まれていた。まったく人騒がせな「日時計」だった。

【魔界TVシリーズ再放送予定の問い合わせ先】

京都チャンネル (スカイパーフェクトTV ch.726)
<http://www.kyotochannel.com/> 075-253-0609 (FAX)

結婚しなくても、ええんちゃう?

① 結婚できない女医

「医師と結婚して専業主婦になりたい」と言うA子さんは、西京区にある病院の勤務医、34歳。当然、給与は同年代の男性に負けているはずはない。なのに親元で暮らすパラサイトシングル。つまり自分の収入は全て自分の為にあるようなもの。余暇はイタリア語教室に通い、週一回は教室仲間と河原町二条にあるレストランで食事、年二回のイタリア旅行でグッチを買って来た。そんなA子さんが30代半ばにして「シングルライフを卒業したい」と言うのだ。きっかけは「結婚より資格取得!」と言い続けた父親の入院だった。親以外にパラサイトできる相手、つまり衣食住の面倒を見てくれる相手が欲しくなったのだ。そんな時、職場のK医師が「結婚するなら女医がいいなあ」と周りに話している噂を耳にする。これまで「僕より年収は上だろう」と男性に煙たがられることの多かった彼女は「女医の私を理解してくれるのは、この人しかいない」と勝手に思い込んでしまったのだ。

そのK医師は36歳。将来は夫婦でクリニックを開業するのが夢。ある日その彼が歓迎会で使うゲームを買ってきてほしい」と看護師主任に頼まれた。数日後、彼は「九千円くらいやった」と主任に請求すると「領収書は?」と問われ、「そんなんいんの?」と答え、呆れられる。

こんな男には経済観念と一般常識を備えた女でないとバランスが取れへんえ。それになあ、女医希望の医師は女医を辞める女を選ばへんのとちゃう?

PROFILE

フジタカコ

全日本ブライダル協会、ブライダルコンサルタント講師会員第一号資格取得後、結婚雑誌の編集長を経て、現在フリーのマリッジコーディネーター。「結婚水先案内人」として、様々なニーズに合った出合いをマネージメントしている。その他、パーティープロデュース、講演、執筆活動など、活躍の場は多岐に渡る。

問い合わせ先 ☎075-882-5635

<http://www.011.upp.so-net.ne.jp/mml/>



第十三幕「無言詣り」編

祇園祭の深夜
 愛想の悪い
 芸・舞妓?

太夫とは?

「正五位」の別荘で、歌舞音曲の他、茶・華・香・歌など公家や武家の奥方同様の知識を持った舞妓に与えられた妓女の最高官位のこと。現在は6花街のうち京都・地庫のみに4人現存し、司太夫はその内の一方。中学卒業後福屋甲斐で舞妓となり、6年勤務めその後太夫への道に進む。芸事他:日本画・写真・手紙を勉強し、フリーペーパー「こっぴい新聞」の発行やイベント企画など活動の場は広い。



Tsukasa

祇園祭

祇園祭は7月1日から始まり31日に終わる長〜いお祭りです。クライマックスは17日の「鉦巡行」。けどその後には続く「神幸祭」、この17日から24日の「遷幸祭」までの間、花街には夜中に「無言詣り」というものがあります(※注1)。仕事が終わった夜中、家から御旅所を1週間往復。最後の日はもう半分、7往復半すんのどす。夜中にこっそりすんのどすけど、その間は一言もしゃべったらあかしまへん。そやし皆会うても挨拶せえしまへん。ところが無言詣りをしはらへん先輩やお客様が待ち構えてしゃべらそうとすんのどす。これをクリアすんのが大変。昔は泣き出す妓も居たとか。今はしはんの見たことおへんね。情緒無くなりましたなあ。

注1: 祇園さんから御神興さんに誘った神様が氏子たちの町「御旅所」にお戻りす。また祇園さんへお帰りやすその1週間間の間に無言で静かになります。

7月16日は新選組「池田屋騒動」の日。現在、京都文化博物館にて「新選組!」展が開催中。司太夫が音声ガイドを京言葉で吹き込んでいます。祇園祭に来られたら、是非ともお立ち寄りな! 本物の京言葉を聞くことができます。入場料1100円、音声ガイド500円

司事務所
 075-594-0568
<http://kyoto.cool.ne.jp/~tukasa21>